

- 問1 景気対策として日本銀行が実施する金融政策において、不景気時に行われる「買いオペレーション」の仕組みとその影響を説明した文章として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、銀行が保有する資金を増やし、企業や個人への貸し出しを促進させる。 | 2. 日本銀行が銀行から国債を買い入れることで、金利を意図的に上昇させ、過剰な消費や投資を抑え込もうとする。 | 3. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、銀行の資金を減少させ、円の価値を下げて輸出産業を有利にする。 | 4. 日本銀行が銀行へ国債を売却することで、市場にある資金を日本銀行が回収し、物価の急激な上昇を抑制する。 |
|--|--|--|---|
- 問2 政府が実施する財政政策のうち、不況の時期に有効需要を創出し、景気を下支えすることを目的として行われる施策の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 日本銀行から国債を買い取り、通貨の流通量を直接減少させる。 | 2. 公共事業への支出を拡大し、あわせて減税を実施する。 | 3. 社会保障制度を廃止し、政府による財政支出をゼロにする。 | 4. 公共事業への支出を抑制し、あわせて増税を実施する。 |
|----------------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問3 日本経済において、物価が持続的に下落するデフレーションが進行している時期の経済状況や政策について述べたものとして、正しい記述はどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 通貨の価値が下がり続ける現象であるため、日本銀行は公開市場操作を通じて市場の通貨量を増やすことで、物価の下落を食い止める。 | 2. 需要が供給を大幅に上回っているために物価が下落しており、日本銀行は通貨量を減らすために「売りオペレーション」を実施する。 | 3. 物価の下落は消費者の購買力を高めて景気を浮揚させるため、政府は増税を行って市場の通貨量を回収し、経済の安定を図る。 | 4. 物価の下落により貨幣の価値が相対的に上がるが、企業の収益悪化や賃金の低下を招き、さらなる景気の冷え込みにつながりやすい。 |
|--|---|--|---|
- 問4 2010年以降、日本銀行は世の中に流通する通貨の量を急激に増やす政策を続けています。このように通貨の供給量を増やすことで、経済にどのような変化をもたらそうとしているか、その目的として最も適切なものを選択してください。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 物価が上がり続けるインフレーションを抑え、物価を下落させることで国民の生活を安定させること | 2. 物価が下がり続けるデフレーションから脱却し、物価を上昇させることで景気を回復させること | 3. 企業の利益を減らして労働者の賃金を強制的に引き上げ、所得の格差を解消すること | 4. 市場の通貨量を減らすことで円の価値を高め、輸入品の価格を大幅に引き下げる |
|--|--|---|---|
- 問5 景気変動の波において、企業の生産活動が停滞し失業者が増えるなどの「不景気（不況）」の状態にあるとき、景気を回復させるために実施される政策の組み合わせとして適切なものはどれか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 政府が増税を行って消費を抑え、日本銀行が売りオペレーションを行って市場の通貨量を減らす。 | 2. 政府が増税を行って消費を抑え、日本銀行が買いオペレーションを行って市場の通貨量を増やす。 | 3. 政府が公共事業を縮小し、日本銀行が売りオペレーションを行って市場の通貨量を減らす。 | 4. 政府が公共事業を拡大し、日本銀行が買いオペレーションを行って市場の通貨量を増やす。 |
|---|---|--|--|
- 問6 日本銀行は、景気が悪くなった際に世の中に出回るお金の量を増やしたり、景気が過熱した際に抑えたりすることで、物価の安定を図ります。このような中央銀行としての役割に基づいた活動を何と呼びますか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 金融政策 | 2. 財政政策 | 3. 所得再分配 | 4. 公開市場操作 |
|---------|---------|----------|-----------|
- 問7 貨幣には、手に入れた所得をすぐには使わず、将来に備えて貯蓄することを可能にする役割があります。この役割を何と呼びますか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 価値の保存 | 2. 価値の尺度 | 3. 支払の猶予 | 4. 交換の手段 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問8 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念がある際、日本銀行が行う「売りオペレーション」の仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を増やすことで、金利を低下させる。 | 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場の資金量を減らすことで、物価の安定を図る。 | 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を減らすことで、金利を上昇させる。 | 4. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場の資金量を増やすことで、景気をさらに刺激する。 |
|---|---|--|--|
- 問9 経済活動において、物と物を直接交換するのではなく貨幣（現金など）を介して取引を行う背景には、どのような利点があるからですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 商品の価値をあえて不明確にすることで、市場における取引の回数を増やすため。 | 2. すべての国民が自給自足の生活に戻ることを促し、地域経済を活性化させるため。 | 3. 自分が欲しいものと相手が欲しいものが一致しなくても、円滑に取引ができるようになるため。 | 4. 電子マネーのみに限定して取引を行うことで、商品の価格変動を完全に抑えるため。 |
|--|--|--|---|
- 問10 日本銀行が担う「券券銀行」としての役割と、その目的について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 民間の銀行が資金不足に陥った際に資金を貸し出し、金融システム全体の混乱を未然に防ぐ。 | 2. 日本銀行券を独占的に発行し、景気の状態に合わせて世の中に出回る通貨の量を調整することで、物価の安定を図る。 | 3. 国の税金を預かったり、公共事業などの支払いを行ったりすることで、国の資金（国庫金）を安全に管理する。 | 4. 企業の活動を支援するために株式を直接発行し、投資家から集めた資金を産業の発展に役立てる。 |
|---|--|---|---|
- 問11 企業が直接金融の手段として「株式」と「社債」を発行する場合、その性質の違いに関する説明として正しいものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 株式は企業が倒産した際に優先的に払い戻されるが、社債は企業の所有権を表すため払い戻しの優先順位が最も低い。 | 2. 株式は返済の義務がない資金であり、社債はあらかじめ決められた期限に元本を返済し利子を支払う必要がある資金である。 | 3. 株式は銀行から借り入れた負債のことであり、社債は企業の利益を内部に蓄積したものである。 | 4. 株式を購入した投資家には経営に参加する権利が与えられないが、社債を購入した投資家には株主総会での議決権が与えられる。 |
|--|---|--|---|
- 問12 企業が生産活動を拡大し、得意分野の製品を他国に出荷するなどの事業を行う際、多額の資金が必要になります。このとき、企業が自ら株式や社債を発行し、家計などの投資家から直接、資金を調達する仕組みを何といいますか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 間接金融 | 2. 預金準備率 | 3. 公定歩合 | 4. 直接金融 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問13 外国為替相場において、1ドルの価格が100円から110円に変化した状況について、正しい説明はどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|--|
| 1. 円高の状態であり、石油や天然ガスなどの輸入資源の価格が下がり有利に働く | 2. 円高の状態であり、海外への日本製品の価格競争力が高まり有利に働く | 3. 円安の状態であり、海外旅行に行く日本人にとって旅費が安くなり有利に働く | 4. 円安の状態であり、日本の自動車メーカーなどの輸出企業にとって有利に働く |
|--|-------------------------------------|--|--|